

赤い羽根応援大使
福岡ソフトバンクホークス
笠谷 俊介 選手



赤い羽根応援大使
福岡ソフトバンクホークス
リチャード 選手



支え合い 未来につなげる おくり物

赤い羽根共同募金

令和4年度赤い羽根キャッチフレーズ最優秀作 須恵町立須恵第一小学校6年 常光 ことほる さん

福岡県の令和4年度目標額
5億8,517万4,000円
これは、各地域の課題解決を目指す様々な福祉活動を支援するために必要な金額です。

運動期間 **10月1日~3月31日**

一般募金	10月1日~12月31日
歳末たすけあい募金	12月1日~12月31日
テーマ型募金	1月1日~3月31日

共同募金は、皆さんの住む町の福祉活動や大規模災害時のボランティア活動などに活用されています。



社会福祉法人
福岡県共同募金会

福岡県春日市原町3-1-7 クローバープラザ6階
TEL 092-584-3388 FAX 092-584-3386
HP <https://fukuoka-kyoubo.jp/>

♪ 困ったときは、おたがいさま



支え合う人たちがいる♪

ひとりひとりの小さなお金。そのお金に「誰かの助けになりたい」という気持ちがこもって十人、百人、千人と集まれば、大きな力に変わります。赤い羽根は、小さなことをしています。小さな活動をたくさん、何十年と続けています。つまり、赤い羽根は、大きなことをしています。

意志あるお金、募金のチカラ。

赤い羽根共同募金

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、赤い羽根の配布は行いません。
赤い羽根が必要な方は、下記にご連絡ください。



福岡県共同募金会篠栗町支会・篠栗町社会福祉協議会
TEL 947-7581 FAX 947-6021

皆様から寄せられた募金は様々な福祉事業に役立てられています

篠栗町の共同募金配分事業

【社会福祉協議会（社協）の取組】



地域の多様な人達がつながりあうための活動支援

地域の人が出会う場、気軽に参加できる場を充実させています。出合いは信頼関係や助け合いが生まれる源となります。

いきいきサロン・おひさま活動

福祉協力員や地域のボランティアさんが中心となり、ひとり暮らし高齢者等の介護予防・交流・地域福祉力向上を目的として開催しています。



ボランティア養成講座開催

地域で必要とされているボランティア活動について楽しく学び、活動につなげます。

早くメンバーの皆さんと一緒に活動したいな！



ふれあい・サタデー（農園活動）

障がいのある方が野菜作りの活動を通して、当事者同士やボランティアと関わりながら地域交流、仲間作りをします。併せて家族の介護負担の軽減、保護者、兄弟同士の交流の場も提供しています。（※）

すまいるサロン

障がいがある方の余暇活動の場と音楽を通じた療育活動を提供しています。併せて家族の介護負担の軽減、介護者同士の交流の場となっています。（※）

子育てサロン

地域の協力により公民館等で開催しています。子育て中の親子が気軽に集い交流を深めています。（※）

おやこひろば

コロナウイルスの影響で子育てサロンが開催できない間、交流の場としてオアシス篠栗で随時開催しています。



子育て講座

子育てに関する講座を行い、学んだことを家庭や地域で生かしたり、リフレッシュの場にもなっています。

多世代交流まるごと



様々な世代の人が出合い、交流できる場を開催しています。一緒に活動することでお互いの良さを認め合い、多様な価値観を感じる機会となっています。

篠栗町シニアクラブ連合会へ助成

4月から「篠栗町シニアクラブ連合会」へ名称変更しました。健康で豊かな生活を営み、住み良い郷土となるよう活動しています。



子ども会育成会へ助成

子ども会育成会連絡協議会を通し、各区の育成会活動への助成を行っています。

身体障がい者福祉協会へ助成

遺族会へ助成

社協を知ってもらうための取組

ブログ・Instagram・facebook

毎月の「社協だより」の他に、ホームページやSNSで最新の地域の活動や社協の取組を発信しています。

ぐりっこだより

未就学児を対象とした子育てに関する情報を1つにまとめ、毎月町内30カ所に配付しています。



地域の皆さん達による助け合い活動の支援

隣近所などで自然に行われている身近な助け合いや地域での支えあいの仕組みをサポートしています。また、地域福祉活動の担い手であるボランティアさんの活動を支援しています。保険にも加入し、安心して活動できるよう側面的にも支援しています。配分金を事業の費用に充てることで直接役立てている事業もあります。

ボランティア活動支援

ボランティア活動に携わる人材育成だけでなく小学生の総合学習支援や福祉体験教室等、やさしい心を育てていくための取り組みも行っています。



ボランティア連絡協議会へ助成

加入するボランティア団体で横のつながりを作り、情報交換をしたり、交流会や研修会を開催しています。ボランティア活動の喜びや楽しみを伝えるための広報も発行しています。

移送サービス

常時車いすを利用している社協会員の方に買い物、通院などの外出の際に、車いすのまま乗車できる車両を貸出しています。運転者がいない方は、運転ボランティアの移送もあります。

見守り(乳酸菌飲料配布)

民生委員さんと連携し、乳酸菌飲料のお届けを通してお一人暮らし高齢者の見守り、安否確認を行います。



マッサージ補助券配付

65歳以上の社協会員の方に、鍼灸マッサージ割引券を交付しています。



福祉教育教材の配布

町内の認可保育園・児童館・認定こども園への福祉教材の助成を行っています。子ども達が読む文庫のほか、遊具の助成も行っています。



区長会へ助成

民生委員・児童委員協議会へ助成

歳末見舞い

空き缶クリーン作戦へ助成

シニアクラブ会員さんが、空き缶を回収し、障害のある方が活動される「三つ葉の里」へ渡されています。



withコロナ、つながり続ける地域へ

コロナ禍でのボランティア活動支援

三密にならない活動や自宅のできる活動などをボランティアの皆さんとすすめています。



新型コロナウイルスの影響により社会的孤立や生活困窮などの福祉課題が浮き彫りになりました。社会福祉協議会では、地域の助け合いやつながりを絶やさないための活動を行っています。

フードサポート事業

町内の皆さんが「困った時はお互いさま」との気持ちで寄附くださった食料品等を、必要とされる世帯にお渡ししています。頂いた募金は、お米等の購入に活用しています。

生活困窮者支援

経済的困窮により食べるものが無いなど、生命にかかわるような状況にある方のために、緊急一時的な支援として食料などの現物給付を行っています。



令和4年度目標額 7,400,000円

昨年度は皆さまから7,168,597円のあたたかい募金をいただきました。ありがとうございます。今年度は共同募金会から6,028,800円の配分を受け、上記羽根マークの福祉事業に使われます。



印の事業は、赤い羽根共同募金の配分で行っている事業です。（※）印の事業は、感染拡大防止のため現在活動休止中です。